

2004 年

軽防協ニュース速報 NO. 3

2004年第3四半期（7月－9月）の伝染病発生状況についての報告

(International Collating Center からの情報)

2004年10月29日

アルゼンチン

馬のヘルペスウイルス

EHV-1 流産型

7月2日から8月30日までに7つの施設で数頭の馬(サラブレッド種と非サラブレッド種)で流産が発生した。INTA Castelar のウイルス研究所によるウイルス分離と PCR 検査の結果、EHV-1 感染が確定診断された。ワクチン接種状況は様々でいくつかの牧場では Fort-Dodge 社の Pneumabort-K を胎齢 5, 7, 9 ヶ月目に接種していたが、他の牧場は全く接種をしていなかった。7つの施設のうち5つで複数例の流産が発生し、ひとつの牧場では 30 頭のうちワクチン接種済みの 9 頭が流産した。他の 2 つの牧場では EHV-1 による流産は散発的であり、それぞれ 1 頭のみが発生であった。

オーストラリア

腺疫

New South Wales 州で 10 例の腺疫の発生が確定診断された。

馬のヘルペスウイルス

EHV-1 流産型

Victoria 州において 1 例の EHV-1 による流産の発生が報告された。

Queensland 州と New South Wales 州で数多くの妊娠後期の流産が報告された。これらの流産は既知の伝染病ではなく、現在これらの症例について調査中である。

カナダ

報告未着。

デンマーク

報告事項なし。

フランス

馬インフルエンザ

Calvados と Eure の非サラブレッド種（ Trotter ）が、鼻汁スワブの ELISA 検査によって馬インフルエンザと診断された。Oise のサラブレッド種、Nord の非サラブレッド種（ Trotter ）、Yvelines の乗馬が血清学的に馬インフルエンザと診断された。

馬ヘルペスウイルス

EHV-4 呼吸器型

Bouches-du-Rhone, Calvados, Maine-et-Loire (2つの異なるきゅう舎), Oise(9きゅう舎), Pyrenees-Atlantiques, Sarthe のサラブレッド種で、血清学的に EHV-4 呼吸器型と確定診断された。EHV-4 の呼吸器型は、Bouches-du-Rhone, Calvados, Vendee の Trotter、Maine-et-Loire, Nord (2つの異なるきゅう舎), Yvelines, Essonne (2) および Val d'Oise, の乗馬、Nord, Rhin (Haut-) と Yvelines (2つの異なるきゅう舎) の非サラブレッド種で確定診断された。

ピロプラズマ病

ピロプラズマ病は南フランスの風土病として常在している。

ウエストナイルウイルス感染症

以下は ProMED から得られた情報である。

南フランスにおける馬のウエストナイルウイルス感染症の発生（2004年9月）

2004年9月28日、馬のウエストナイルウイルス（WNV）感染症の疑似患者2症例が、フランス南西部の Camargue 地方の Saintes-Maries de la Mer で確認された。フランス食品安全庁によって 疑似患者から採取された血液による ELISA 検査が行われた。その結果、2004年9月10日に WNV に対する IgM、IgG 抗体が検出された。2004年9月13日にフランス全土に警告が出された。

2004年9月30日までに37頭の馬の疑似患者が報告され、そのうち4頭が斃死または安楽死処置された。検査された18頭のうち14頭が WNV 陽性（WNV IgM が検出あるいは RT-PCR での陽性）であった。これらの最も一般的な症状は、発熱、横臥、運動失調、麻痺、興奮性である。Lyon の国立アルボウイルス情報センターは3症例に特異的中和抗体を確認した。

疑似患者は、最初の発生地である Saintes-Maries de la Mer から西と北に 35 km の範囲で分布している。Saintes-Maries de la Mer は Rhone 三角州に位置しており、渡り鳥や定住している鳥類が無数に生息している。今回の発生地域は、2000年に馬での発生（8月末から11月初旬にかけて131頭の疑似患者が発生し、76頭が確定診断された。）があった地域とほぼ同じ範囲である。2000年の発生では人の症例は報告されておらず、2004年も39週目まで人の発生報告は無い。

2000年の発生の後、WNVの総合的な監視プログラムが農業省、公衆衛生環境省の連携と当該地方の省庁、すなわち、Herault,Gard,Bouches du Rhoneを網羅して進められた。監視鳥類（鶏、鴨）に対して定法によりWNV抗体検査を行った。馬や人の疑似患者はWNV感染症の検査を受けた。

死亡野鳥はWNV検査のために集められた。7人の人の患者と4頭の馬の患者が出た2003年のFrejus市（Camargue省の200km東、Var省）に局限したWNV感染症の発生があったため、2004年の監視鳥類の監視プログラムは、Pyrenees省東部からVar省まで地中海沿岸に沿って6つの省を対象を広げて実施された。対象とされた省では、同様に人と馬の疑似患者の報告がある。

Camargue地方の監視鳥類から低率ながらWNVの活動が報告された。2001年の抗体上昇した鳥が1羽、2002年が1羽、2003年は無かった。2004年7月下旬、Saintes-Maries de la Merの監視鶏の抗体価の上昇が報告され、8月中旬には同じ場所で2例目の抗体上昇が報告された。2004年9月6日にこの群中の2/3の監視鳥類がWNV抗体陽性となった。8月16日にHeraultのSaint-Justの監視鴨がWNV抗体陽性と報告された（感染は2004年9月7日に確定した）。

以下は9月13日に発表された警告である。すなわち、(a)人と馬の疑似症例の監視強化。(b)感染馬が見つかった地域のベクター調査。(c)2004年10月末まで汚染地域の居住者や旅行者からの輸血禁止についてのいくつかの対策である。2004年8月初旬から9月中旬までに汚染地域の供血者から得られた789の輸血用血液による疫学調査では、検体中にWNV遺伝子が検出されなかったと報告されている。

ドイツ

報告事項なし。

香港

報告事項なし。

アイルランド共和国

サルモネラ症

この四半期で1頭のサルモネラ症が発生した。

腺疫

この四半期で15頭の*S.equi*感染症が確定診断された。

馬インフルエンザ

8月中旬にひとつの国立狩猟公園の20頭の馬のうち4、5頭が軽度な馬インフルエンザの症状を示し、鼻汁のPCR検査により確定診断された。

馬ヘルペスウイルス

EHV-1 神経型

EHV-1 の神経型症がワクチン未接種の馬 1 頭で発症し、当該馬は安楽死となった。診断は死後組織の PCR 検査によって行われた。ウイルス学的な調査が進行中であるが、感染が拡大しているという証拠は無い。

イタリア

報告事項なし。

日本

馬ヘルペスウイルス

EHV-4 呼吸器型

7 月 7 日から 8 月 20 日の間に 2 つの施設で 19 頭のワクチン未接種馬が感染した。日高家畜保健衛生所で血清診断、PCR 検査によって EHV-4 が確定診断された。

ニュージーランド

報告事項なし。

スペイン

報告未着。

スウェーデン

サルモネラ症

Salmonera typhumurium が 3 つの異なった牧場の子馬から分離された。これらの牧場の疫学的な関係は調査中であり、牧場は隔離されている。

腺疫

腺疫は全国的に風土病として存在しており、確定診断はすべて検査室で確定されたものではないが、62 症例が報告されている。

インフルエンザ

20 症例が報告されており、検査室で確定診断された。いくつかの競馬場で大きな問題となっており、競技や開催が中止となった地域もある。

スイス

馬ヘルペスウイルス

EHV-4

中部地方で 6 月末に 1 例届出があった。

腺疫

中部地方と Jura 地方で 7, 8 月の間に 3 症例の届出があった。

馬ピロプラズマ病

西部、北西部、中部地方において 3 頭（1 例の *B.equi syn. Theileria equi* と *B. caballi* と *equi* が 1 例ずつ）の臨床症例と 9 頭（*B. caballi* が 2 頭、*B.equi syn Theileria equi* が 3 頭、*B. caballi* と *equi* が 4 頭）の血清検査による摘発例があった。

大腸菌症

Bernes 州（2, Fribourg 州, Grisons 州で 4 症例が発生した。

ボツリヌス症

1 例が報告されたが、詳細は不明である。

トルコ

報告事項なし。

アラブ首長国連邦

報告事項なし。

イギリス

馬インフルエンザ

この四半期に馬牧場で 2 つの発生があった。

England の Staffordshire 州で 7 月の初旬に発生した。9 頭のワクチン未接種馬が、絶え間ない発咳、発熱、漿液性鼻汁などの臨床症状を示した。さらに 14 頭の馬が接触感染した。感染した馬はすべて 5~7 歳であった。診断はスワブの核蛋白 ELISA 法による陽性と血清抗体価の上昇に基づいて行われた。

7 月初旬に Wales の Pembrokeshire 州でも発生が認められた。4 頭のワクチン未接種馬から検体が採取され、ペア血清で抗体価の上昇が認められた。当該牧場の 36 頭のワクチン未接種馬のうち 6 頭に症状が見られた。さらに 3 頭の疑似患畜が報告されたが、ワクチン接種歴があり症状は軽度であった。

馬ヘルペスウイルス

EHV-1 神経型

7 月初旬に England の Derbyshire 州の馬牧場で EHV-1 の神経型が発生した可能性がある。1 頭の馬が EHV-1 神経型に典型的な麻痺や横臥などの症状を示し、6 月末に安楽死された。死後に病理解剖は行われなかったが、安楽死前の血清材料からワクチン未接種馬にしては高い EHV 抗体が検出された。1 週間のうちに当該牧場に繋養されている 30 頭のうち、接触のあった 6 頭が呼吸器症状を発症し、鼻汁や四肢浮腫などの症状が見られた。これらの馬のうち採材が行われた 1 頭のペア血清で EHV 抗体の上昇が認められた。

Suffolk 州のトレーニング牧場でも、7月初旬に EHV-1 神経型が発生したことが確認された。トレーニング中の 2 歳牡馬に 39.4℃の発熱と四肢の浮腫が見られた。これらは、その後運動失調と尿失禁に進行した。EHV-1 がヘパリン加血液材料から分離され、ペア血清で抗体価の上昇が確認された。類似した臨床症状を示した他の症例は 2 週間前に発症し、ワクチン未接種馬としては高い EHV 抗体価を示した。両馬とも良好に回復した。さらに 60 頭の馬の採材が行われ、高い EHV 抗体価を示した馬が 2 頭いたが、臨床症状は見られずウイルスも検出されなかった。

EHV 呼吸器型

7月に Suffolk 州のトレーニング牧場で、EHV 呼吸器型の発生が 1 例認められた。同馬の症状は軽度であった。ペア血清による抗体価の上昇は認めしたが、ウイルスは分離されなかった。

アメリカ合衆国

東部馬脳炎 (EEE)

フロリダ州、ルイジアナ州から東海沿岸の各州、南はテキサス州から北はニューハンプシャー州、マサチューセッツ州までの範囲で EEE の症例が報告された。

水胞性口炎 (VS)

9月16日にUSDA (米国農務省) は、コロラド州で 104, ニューメキシコ州で 77, テキサス州で 15, 合計 196 の施設の 290 頭の馬属および 39 頭の牛に発生した。さらに詳細な情報は、<http://www.aphis.usda.gov/lpa/issues/vs/vs.html> から得られる。テキサス州動物衛生委員会、ロンスターパーク競馬場、ブリダーズカップ組織委員会は、USDA と共に 10 月 30 日にテキサス州ダラス/フォートワースにあるロンスターパーク競馬場で行われる予定のブリダーズカップの準備として、VS の制圧・監視プログラムを決定した。

ウエストナイルウイルス感染症 (WNV)

USDA は 9 月 30 日の時点で、2004 年に 63 頭の馬の WNV 感染症例の発生を報告した。すなわち、カリフォルニア州 (385 症例)、アリゾナ州 (89 症例)、ネバダ州 (70 症例) など主に西部の州である。州ごとの馬の発症率に関する情報は <http://www.aphis.usda.gov/vs/nahps/equine/wnv/map2004.html> から得られる。

同じ期間に疾病管理・予防センター (CDC) は、56 人の死者を含む 1784 人の患者を報告しており、多くの症例はカリフォルニア州 (563 人)、アリゾナ州 (362 人)、コロラド州 (225 人) から報告されている。